

小学生とのタウンミーティング（要約（ようやく））

テーマ：未来の松山のこと、私の住む地区のこと

令和6年11月9日（土曜日）

【市長】 皆さん、こんにちは。今日は、土曜日の午後ですが、このように集まっていただいて、本当にありがとうございます。また、子どもたちを引率していただいた各小学校の先生方、本当にありがとうございます。これから始めるタウンミーティングですが、いただいたご意見を松山市のまちづくりに生かしています。私が市長になってからずっと続けていまして、今回で141回目になります。いつものタウンミーティングなんですが、松山市は、旧の松山市、旧の北条市、旧の中島町、あわせて全部で41地区にわかれます。この市内41地区ごとにまわって、地域の皆さんとお話をしたり、例えば、中学生と話をしたり、高校生と話をしたり、また、子育て中のお父さんやお母さんとお話をしたり、おじいちゃんやおばあちゃんとお話をしたりします。また、職業別のタウンミーティングと言いまして、例えば、農業の方々に集まっていただいてお話をしたり、商店街の方々に集まっていただいてお話をしたり、また、銀行におつとめの皆さんですとか、いろいろな年齢やお仕事の方々から、ご意見をお聞きしています。これまで、大人の方と一緒に、小学生も参加してくれていたんですが、小学生だけで開催するのは、先月に続いて2回目になります。おじさんたちもね、先月は初めてだったんで、ドキドキしたんです。今回は2回目なので、それを生かしながらできたらと思います。また、参加した皆さんから、松山市の取組がよく分かってよかったというような声があったので、現地・現場で働いている市の職員が、皆さんの生活に役立つお話をする「広報タイム」を、意見交換の途中に行っています。今日も、14時5分頃から「広報タイム」を設けさせていただきます。今、松山市では、子どもの皆さんを、これからもしっかりと支えていくため、どんなことをこれからしていくか決める「こども計画」を、たくさんの方々の意見を聞いて、つくっています。今日のタウンミーティングでも、松山市を良くすると思う意見やアイデアを、どんどん発言してもらったと思います。皆さんからのご意見には、できるだけこの場でお答えをします。でも、中には、いろんな人と相談をしなければいけない案件があったり、また、実現するには、たくさんお金が必要な、そういう内容もあります。いいかげんな返事をして終わるわけにもいけないので、しっかり考えたお答えを、1カ月後、必ず皆さんにお答えします。聞きっぱなしにしない、やりっぱなしにしないというのが、松山市のタウンミーティングの特徴（とくちょう）です。今日は、小学生の皆さんが、普段どんなことを考えているのか聞けるので、とっても楽しみにしています。緊張（きんちょう）すると疲れちゃいますから、あんまり緊張しないで、のびのびと意見交換してもらったと思います。どうぞよろしくお願いします。

【味生第二小】 味生第二小学校です。私たちの学校、味生第二小学校は、去年から今年まで、改修工事を行っていました。それで、私たちの学校には自然豊かなアスレチックがあって、そのアスレチックは、校長先生と松山市の方が話し合って、本当は全部、アスレチック自体が無くなる予定だったんですけど、アスレチックを何個か残して、何個かを新しい遊具にするってことになりました。さらに、改修工事といえば、松山駅や松山市駅周辺など、松山市内のいろいろなところが改修工事をしていたんですが、その改修工事をしようとしたきっかけは何ですか。

【教育総務課長（きょういくそうむかちょう）】 古い遊具を使い続けると、こわれてけがをするおそれがあります。松山市では、安全に遊べるように、学校ごとに古くなった遊具を取り外し、新しい遊具を取り付けています。味生第二小学校は、運動場のほか、アスレチック広場に遊具があります。どれも古くなって、全ての遊具を取り外して、新しい遊具を取り付ける計画にしていました。しかし、今回のご意見や、先生方からも、アスレチック広場は学校の宝で、遊具を残してほしいとのお話をいただき、人気のものや修理で使えるものなど、遊具を残す計画に見直しています。そこで、遊具の点検回数のほか、修理にお金がかかるときは取り外すなど、先生と一緒にルール作りをしています。味生第二小の宝を少しでも長く残していくために、先生としっかり話し合っていきたいと思っています。

【市長】 言ってくれてよかったんです。やっぱり、利用してる人の声って、すごく大事にしたいと思うんですよね。ですから今、市役所の職員さんには、もうみんな思ってくれてるんですけど、「一方的に押し付けたりしたら駄目ですよ」って言ってるんです。ですから、言ってもらってよかったんです。今、ちょうど松山は、いろんなものが良くなる過渡期（かとき）です。道後温泉の工事は終わりました。これは、120年の建物だったので、木造です。木です。温泉だから、湿度（しつど）が高いでしょう。そういうところって、ちょっと木はいたみやすいんですね。そのままほっといて、大きな地震（じしん）が来て、こわれてしまったでは、あの建物を目当てに、松山市の外からも、愛媛県の外からも、日本の外からもお客さんは来ているので、大きな地震が来て、こわれてしまったではいけないでしょう。ですので、おじさんたちの世代で、皆さんの世代にちゃんと残せるように工事をしました。工事の期間中も、できるだけお客様が落ちないように、いろんな工夫をして、終わることができました。松山市駅なんですけど、今も工事をしています。実は、30年前ぐらいから再開発はしないといけないねって言うてたんですけど、関わる人が多いと、まとまりにくいですよ。お隣（となり）の花園町通り（はなぞのまちどおり）がきれいになったのも影響（えいきょう）したのか、まとまってくださって、今、松山市駅は新しくなっています。例えば、市駅前の商店街にアーケードがあったんですけど、アーケードがもう古くなって、雨漏り（あまもり）もしてたんですよ。そういったこともあって、松山市駅は今、再開発しています。松山駅も、四国の中でもだいぶ古い駅になっていたんですけど、今、愛媛県が高架（こうか）

という、鉄道が上を通る高架事業をして、松山市がその周りの再開発担当でやっていきます。今、民間の会社さんと、いろいろお話をしながらやっています。本当は、「あの辺りはこうなるんですよ」って言いたいんだけど、言えたら僕も楽なんだけど、途中段階のことを言ってしまうと、「何で言っちゃったんですか」になってはいけないので。今、確実に、民間の方とお話をしているところなので。皆さんの代にきちっと、より良い松山にして引き継（つ）ぐために、再開発をしているということになります。ちょっと端的（たんてき）に言いましたけど、そういうことになります。

【双葉小】 双葉小学校です。愛媛県にある道後温泉は、世界で有名です。「万葉集」や「坊っちゃん」などにも掲載（けいさい）されています。そして、その道後温泉は、今年5年ぶりに全館改修工事が終わり、全国ニュースで流れるほどのニュースになりましたよね。松山市の市民だけでなく、全国の人々や世界の国々の人々にまで知られるために、また、未来に残すために、どんな工夫が必要だと思いますか。

【市長】 ありがとうございます。ちゃんと調べとるんやね。えらいね。道後温泉は、耐震補強工事（たいしんほきょうこうじ）とは、松山市は言わなかったんですよ。耐震補強工事というと、ななめに柱でも入っちゃって、建物自体が変わるんじゃないかって思われるので、実際に、耐震の部分は1割ぐらいあったんだけど、ほとんどは修繕（しゅうぜん）だったんですよ。平たく言うと、9割が修理、1割が耐震だったので、保存修理工事（ほぞんしゅうりこうじ）って言ってきました。周りにガス灯があるんですけど、そういった昔の趣（おもむき）は、そのままにしました。でも中は、これはこれで雰囲気（ふんいき）があっていいんだけど、道後温泉本館って昔からあるので、冷暖房（れいだんぼう）ついてなかったのね。なので、夏は、みんなお風呂上がりは暑いなあって言いながら、うちわであおいでたんだけど、今は、さっき言ったように、すごく暑くなってるでしょう。なので、この機会に冷暖房を入れさせていただきました。昔は、道後温泉本館は、家から石けんを持ってくることもできたんだけど、石けんを持ってこなかった人は、10円とか20円とか、安い値段で石けんをお売りしてたんだけど、その石けんって、最後まで使わないじゃない。結局、捨てちゃうでしょ。もったいないので、シャンプーとかトリートメントとか、ボディーソープは、備え付けにさせていただきました。資生堂（しせいどう）さんっていうメーカーがあるんだけど、資生堂さんと協定を結んで、シャンプーとかコンディショナーは、椿（つばき）っていう、いいシャンプーやトリートメントを使っています。ですので、いいものは残して、ちょっと新しく展開していったっていうのが、道後温泉本館です。これだけ言うね。道後温泉の工事は、とても難しかったんです。というのが、営業しながら工事を選んだので、お風呂だから、みんなはだかで入るところでしょ。工事中、もし配管に何かあって、熱いお湯が吹き出したりしたら大変じゃないですか。だから、本当はもう、完全に閉館した方が工事はしやすかったかもしれないけど、お客様がものすごく落ちちゃうので、部分的に営

業して、部分的に工事を選びました。いろんな対策をして、お客様を落とさないようにしました。とっても難しい工事だったんだけど、みんなががんばってくれて、今、修繕できましたっていうところです。また行ってみてください。お願いします。

【石井小】 石井小学校です。僕は、環境問題との向き合い方について考えています。日本は水がきれいで、蛇口（じゃぐち）をひねるだけで、安心して飲める水が出てきます。しかし、世界では水が飲めない国もたくさんあります。松山市も、最近ではダムの水が減ってきているという話をよく耳にします。水がなくなると、お風呂（ふろ）やトイレの水が使えなくなり、生活が不便になります。また、松山市はごみが少ないまちだと聞いていますが、公園や歩道、祭りが行われた場所など、ごみのポイ捨てが見られ、心配しています。そのため、私は自分が出したごみは、ちゃんと持って帰るよう心がけています。松山市は、環境問題に対して、どのような取組をしていますか。また、私たちにできることは何ですか。

【企画戦略課長（きかくせんりやくかちょう）】 松山市では、毎日、水道水の水質を検査していますので、安心してください。雨が少ないときは、ダムの水や地下水が減ってくるので、節水を呼びかけています。また、環境を守るため、ごみの減量やリサイクル、二酸化炭素の削減（さくげん）などにも取り組んでいます。ごみを減らす学習会など、環境教育を進めて、ごみの分別などを徹底（てっぺい）してもらい、ごみの量は全国の県庁所在地で1位、中核市でも2位の少なさになっています。このほかにも、二酸化炭素を減らすために、学校や市の施設（しせつ）、各家庭に太陽光発電システムの設置を進めています。小学生の皆さんにも、できることはたくさんあります。例えば、食べ残しをなくすこと、マイボトルやマイバッグを使うこと、電気をこまめに消すことなどです。ぜひ、学校やおうちで取り組んでみてください。

【市長】 水ってとっても大事で、みんな地球を思い浮かべてみて。海がすごい広いよね。地球上の水は、海水が97%なんですって。使える真水って0.01%なんですって。例え話をすると、地球全部の水を、お風呂にためた水に例えると、使える水って、たったスプーン1ぱい分なんですって。だから、使える水って、ものすごく貴重なんですよ。日本はこうやって蛇口をひねったら、当たり前で飲める水が出てくるけど、これは極めてまれなんです。ですので、とっても水を大切にしてください。お願いします。松山市は、環境モデル都市に国から選ばれているので、太陽光発電を積極的に進めてますねとか、ごみが少ないですねっていうので、国から認められているんですけども、これを継続（けいぞく）していきたい。ごみのポイ捨てが一番よくない。結局は、海や川に流れていって環境を悪くするので、絶対にポイ捨てしないように、よろしく願いします。

【雄郡小】 雄郡小学校です。僕は、松山の魅力についてうかがいたいんです。僕は、公

園やお店が近くにあったり、小学生・イングリッシュデイのような楽しい行事があったりするので、松山に住んでいてよかったなと思います。市長さんは、松山市のどのようなところが好きですか。また、良い松山にするために、日々どのようなことを考え、行動されているのかを知りたいです。

【市長】 分かりました。松山いいなあと改めて思うこと。みんなね、大人になって働くようになったりとか、学校に行くようになって、例えば、大学とか専門学校よ。別に、愛媛から離（はな）れちゃいけません、なんて言いません。僕も、高校のときは、絶対に県外の大学に出てやるぞって思っていたので。出たらいけんとかは言いません。でも、松山のことを好きであってほしいんですよ。それはやっぱり、みんな前向きに、後ろ向きじゃなくて前向きに、松山って、どんなところが好きかなっていうのを、日頃からちょっと意識してほしいんです。松山の真ん中に、松山城がありますよね。あんな江戸時代からのお城が残ってるのって、全国に12しかないんだよ。例えば、みんな修学旅行で行くかもしれんけど、大阪城ってコンクリート造りなんだよ。エレベーターも通ってる。それはそれでいいんだけど、江戸時代からのお城が残ってるっていうのは、すごく貴重なのよね。ほんで、道後温泉も日本最古の温泉。実際に、古事記（こじき）とか日本書紀（にほんしょき）に登場して、うそじゃない。実際に、日本最古っていうのは確かなんだなっていうのは感じます。それとか、東京とか大阪に行ったら、別に行くなっていうことじゃないよ、通勤にすごく時間がかかるのよね。でも、松山は全国の中でも、通勤や通学にかかる時間がものすごく短い。これは、松山の良さ。考えてみると、例えば、22歳で働き出して、計算しやすく62歳まで働くとするよ。40年間働くとするよ。毎日、例えば、学校とか会社まで15分で行けます、15分で帰れますといったら、通勤・通学にかかる時間は30分だよ。東京とかは、会社に行くのに1時間かかります、帰るのに1時間かかります。30分を毎年40年間続けるのと、往復2時間を毎年40年間続けるのと、ものすごい差があるよね。だから、松山って、ものすごく住みやすいところであるっていうのは、いいと思います。ですので、松山のことを前向きに、どういうところがいいところかなっていうのを、常日頃（つねひごろ）から意識してもらうのは、とっても大事だと思います。僕は大学で県外に出て、松山はやっぱり、いいところやな、松山で働きたいなと思って、帰ってきました。将来、県外で働いてもいいけど、松山が好きだなっていう、松山で育ったんだなっていう思いは、胸の中で大事にしてもらったと思います。よろしくお願いします。そんな答えでいいかな。

【栗井小】 栗井小学校です。さっきの質問でもあったように、海のごみについて、私たちは聞きたいと思います。栗井小学校は、海に近い地域なんですけど、でも最近、海に行くと、ゴミ袋やびん、缶などのごみをよく目にします。このままでは、きれいな浜がなくなってしまうと思うのですが、松山市ではどのようなことをしているのでしょうか。

【市民部長（しみんぶちょう）】 栗井地区の海岸は、愛媛県が管理をしているんです。美しい海岸、これを守っていくために、ボランティアを募集しています。「愛ビーチ・サポーター」と言いますが、定期的に海の清掃活動をしていただいています。今、栗井地区では3つの団体が活動されているそうです。松山市は、そのボランティアで海岸をお掃除してもらうときに、無料でごみ袋を配ったりとか、集めたごみを回収したりするお手伝いをしています。これからも、こういった清掃活動の呼びかけとか、海のごみについて学べる場をつくったり、市のホームページとか、「広報まつやま」ってありますよね、そういうものでお知らせするなど、皆さんに、海の環境にもっと関心を持ってもらおうと思っています。

【市長】 いろんな人に協力してもらいながら、海岸であったり、道路はマイロードサポーター制度みたいなのがあって、道路もそんな形できれいにしています。僕は、河野小学校のそばに実家があるんです。高校は、その北条の実家から、松山の高校に通ってたんだけど、今、フジ夏目店ってあるでしょう。フジ夏目店のそばに川があって、ずっと下ったところの海岸が、僕はとっても好きで、よく高校時代は、そこで夕日の写真を、写真部だったんで撮（と）ったりしてました。みんなに知ってほしいんですけど、僕は、大学は同じ瀬戸内（せとうち）の岡山県にある大学に行ったんだけど、同じ瀬戸内やけどね、海がちがうんよ。松山、北条、中島の子は、海に行ったら結構、はだしで歩いても気持ちのいい砂浜でしょう。でも、岡山は、岡山市内から車で1時間近く行かないと、海水浴できるような海岸に行けないの。ほんで、そこも結構、小石がゴツゴツしてて、足に当たったらいたいような砂浜なの。なので、はだしで歩いて気持ちいいような砂浜って、とっても貴重なんです。そこに沈む夕日とか、きれいでしょ。なので、あれは結局、当たり前ではない。とっても宝なんだっていうのを、また意識してもらったらと思います。よろしくお願いします。

【和気小】 和気小学校です。最近、持続可能な社会という言葉聞きます。持続可能な社会への発展目標や、今現在行っている、松山市の取組を教えてください。未来の松山市に、観光客が多く訪れるための方策などがあれば、教えてほしいです。よろしくお願いします。

【市長】 未来のために観光客がっていうと、やっぱり、道後温泉の工事が終了したのはよかったかなと思います。「千と千尋の神隠し（せんとちひろのかみかくし）」の湯屋のモデルの一つが、道後温泉本館です。「千と千尋の神隠し」は、この間、ロンドンで公演が行われましたよね。橋本環奈（はしもとかんな）さんとかがされていましたが、「千と千尋の神隠し」が世界で知られているというのは、大きいことだと思います。松山には、さっき言った道後温泉、松山城、俳句文化、あの夏井いつき先生とかね、今、全国に俳句が広がってますけれども、たくさんの宝があります。持続可能なまちづくりは、やっぱり若い世代に、持続可能なので、若い世代に引き継ぐことが大切だなと考え

ています。ちょうど今、松山市では、「総合計画」っていう、いろんな環境の計画とか、教育の計画とか、いろんな計画があるんだけど、その最も上にある「総合計画」っていうのをつくっています。今日のタウンミーティングも、それに関わります。皆さんが将来の松山を背負っていくので、皆さんの声を大事にしたいと思っています。みんなの声を大事にしています。これからの若い人たちが、さっき言ったことも重なるんですけども、瀬戸内にある松山が、私たちの故郷だって胸を張って自慢（じまん）できるまちをつくっていききたいなと思います。みんなの声を大事にするのが一番だと思っています。あと、松山駅にはこの間、アリーナをつくることを発表しました。5千席規模のアリーナです。そこでいろんなスポーツが行われるとか、アーティストのライブが行われるとか、また、100席程度の文化活動、市民の方が使いやすいようなものとか。また松山駅も、いろいろな形でにぎやかにしていきたいと思っています。よろしくお願いします。持続可能なまちを残していきます。

【立岩小】 立岩小学校です。私たちの学校は、全校19人で、毎日ランチルームで、全校プラス先生で、家族のように仲良く給食を食べています。そこで私たちは、給食についての意見を発表します。毎月5千円程度かかっている給食費は、6年間を通して約36万円です。このお金で、塾（じゅく）などの習い事に通わせてくれる家庭も出てくると思いました。食材費が高騰（こうとう）する中、各家庭の食の格差を少しでもやわらげる役割が、学校給食にあります。給食費の無償化（むしょうか）には、全ての子どもが、給食を気にせず安心して食べられる良さがあると思いました。これで終わります。

【教育総務課長】 給食は、皆さんのお家から給食費をいただいて、美味しくて安全安心な食材を買って、調理する人たちが皆さんの体と心を育てるために、栄養バランスを考えて日々作っております。近頃、全国で食材の値段が上がっていますが、値上がりした分を松山市が負担することで、ご家庭の負担を減らすとともに、栄養バランスと量を保った給食を続けるように努めています。松山市だけで全ての給食費を負担することは、今は難しい状況ですが、給食費の無償化は、子育てしている皆さんを助けることになると考えていますので、国から給食に必要な費用をいただけるようお願いをしています。

【市長】 私は、平成22年だから、14年前に市長にならせていただいたんだけど、私になったときは、みんな病院に行くでしょう。病院って、大きく分けて、通院と入院があります。風邪（かぜ）ひいたとか、お腹いたくなったら行くのが通院で、例えば、骨折しちゃったとか、しばらく病院に入るのが入院ですね。私が就任したときは、その通院や入院の医療費（いりょうひ）の無料化っていうのが、小学校に入る前の子たちはなっていたのよ。でも、これはもっと、松山市として支援（しえん）をするべきだなと思って、段階的にやってきました。まずは、小学校6年生まで通院も入院も無料に、次は、中学3年生まで通院も入院も無料に、今は、高校3年生まで、通院にしても入院

しても無料にするところまで持ってきました。結構お金がいるんですけど、がんばってやってきました。今、できればなと思っているのが、小学校と中学校の体育館へのエアコン整備なんですけど、これは150億円いります。150億円いります。ただ、エアコンをつけただけでは、あんまり効かないんですよ。皆さんのご家庭でもそうであるように、ペアガラスや断熱材を入れたら、しっかり効くようになります。やっぱりかなり広いですからね。ですので、小学校や中学校の体育館のエアコン整備、できたらいいんだけど、150億円かかるので、どこかで150億円は節約しないといけないんですよ。毎年、皆さんから税金をいただいて、お仕事させていただいてるんですけど、150億円使うんだったら、どこかで150億円けずらないといけないんです。これがとっても悩ましいところ。給食は、小学生を6年生まで無料にしようと思うと、確か、1年間で12億円、中学生まで無料にしようと思うと18億円かかったと思います。こういう、皆さんが喜ぶ事業というのは、「ごめんなさい、もうお金がなくなったんで、1年で辞めさせてください」っていうのが言えないんですよ。なので、ここはちょっとなかなか難しいところなんですけれども、まずは医療費のことをやってきたので、次に何ができるかっていうのは、あきらめずにしっかりと考えていければと思っています。とっても気持ち分かるよ。ありがとうございます。

【五明小】 五明小学校です。よろしくお願いします。校区である五明・菅沢（すげさわ）地区には、住民が行くようなお店がありません。JA農協や移動スーパーはあります。しかし、営業時間が短かったり、商品がそろっていなかったりして、とても不便です。コンビニやスーパーは、8km下らないといけません。そこで、日用品や食料品が売ってあるお店があると、お年寄りの方も安心して暮らせると思います。五明地区にお店をつくっていただけないでしょうか。市長さん、よろしくお願いします。

【企業立地・産業創出課長（きぎょうりっち・さんぎょうそうしゅつかちょう）】 近くにコンビニとか、スーパーなどのお店があると、買い物に便利ですよ。でも、お店の人は赤字になってすぐにお店を閉めることがないよう、利益が出て、続けていけるかなど、いろいろ考えてお店を出しています。最近増えている移動スーパーも同じで、赤字にならないよう考えながら営業をしているそうです。これからも地域の皆さんの声を聞き、お店をする人の状況も考えながら、松山市にできるサポートを考えていきたいと思っています。

【市長】 お店ができたらいいんだけどね。今、移動スーパーは高齢の方に好評で、コミュニケーションの場にもなっているというふうにかがっています。五明地区は、バスの路線がなくなりましたが、それを放置、ほったらかしにするんじゃなくて、松山市は地域の皆さんと一緒に、代わりの交通手段を考えました。地元のタクシー会社が、旭中学校、伊台小学校、五明小学校の公式ゆるキャラ「あいみょん」になぞらえ、「あいみょん号」っていうのを走らせています。これと同じように、市民の皆さんと知恵を出

し合って考えていけたらなと思っています。よろしくお願いします。

広報タイム「食品ロスをへらしましょう」

【八坂小】 八坂小学校です。僕たち八坂小学校は、石手川のすぐそばにある学校で、全校生が111人の小さな学校です。そのため、年齢や性別に関係なく仲が良く、休み時間や放課後には外で遊んだり、一緒に活動したりすることが多いです。ところが、特に今年になって、ものすごく暑い日が続き、熱中症警戒（ねっちゅうしょうけいかい）アラートの発表が毎日のように出て、暑さ指数が運動のできない数値になるので、どんなに天気が良く晴れていても、外で自由に遊ぶことができません。また、楽しみにしていたプールでさえ、気温が高すぎて、15時以降入ることができません。思いっきり体を動かして遊ぶ機会が減ったので、体力も落ちたような気がします。学校にいる間は、まだ体育館を使ってお昼休みに遊ぶことはできるのですが、一度に全学年は使えないので、3日に一度、2学年で使っています。放課後も学校同様、気温が下がらないので、近くの公園で遊ぶことができないので、家でテレビを見たり、ゲームをしたり、タブレットを使うことが多いです。私たちは友達と遊ぶことが大好きです。天気のいい日にテレビゲームやタブレットを使う時間を少なくし、外で友達と遊びたいです。高温でも心配せず、友達とドッジボールや鉄棒、ブランコ、おにごっこ、水遊びなど、楽しく遊べる場所が校区にあったらいいなと考えています。それぞれの地区に、児童館など、屋内でも遊べる施設をつくってください。

【教育総務課長】 松山市には、エアコンのついた、室内で安心して遊べる児童館が8カ所ございます。八坂小学校から一番近い新玉児童館、八坂小学校からだ自転車でも10分ぐらいかかりますけれども、マットやとび箱、卓球などで楽しむことができます。また、八坂公民館では、「工作教室」や、カブトムシなど「生き物とのふれあい講座」のほか、様々なイベントを開催しています。学校でお配りしているチラシや、「公民館だより」などでお知らせしていますので、ぜひお友達やご家族の方と参加してみてください。さらに、皆さんが中学生になれば、八坂小学校のすぐ近くにある青少年センター、八坂小学校からだ徒歩で大体3分ぐらいだと思いますけれども、青少年センターが利用できます。バレーやバスケットボール、フットサルなどができたり、テスト勉強などにも使えたりしますので、ぜひ利用していただきたいと思います。

【市長】 今、本当に真夏が暑くなって、外の公園でちょっと遊びにくいですね。今回、松山駅の再開発で、駅のそばに子どもたちが遊べる屋内の施設をつくれないうちで考えています。ちょっと将来的なことも見ながら、やっていきたいなと思います。それと、八坂小学校さんのすごいところが、お城が見えるでしょう。八坂小学校からはお城が見える。もう本当にまちなかなんだけど、ホテルがいるんですよ。八坂小学校、ホテル育てているんですね。僕も何回か行ったことがあります。あんなまちなかで、ホテルが

いるところってめずらしいと思うんで、また引き続き、ホタル大事にしてあげてください。お願いします。

【石井北小】 石井北小学校です。僕たちからの提案は、美味しい味を後世に残したいことです。僕たちは、近くのパン屋さん、洋食屋さんなど、美味しいものが食べられるお店をよく利用します。自分たちが大人になるまで、ずっとあったらいいなと思うお店がたくさんあります。しかし、店員さんが高齢になったり、体をこわしてしまったりしたら、その店は誰が続けていくのだろう。お店を閉めるしかないのだろうかと、疑問、不安を抱きました。お店によっては、家族や知り合いの方が後を継ぐこともできると思いますが、後を継ぐ人がいないお店もあるはずです。松山市の美味しい味を伝統として受け継いでいくために、松山市が中心となって働きかけることができないだろうかと考えました。そうすれば、松山市民も松山市がもっと好きになるし、美味しい味を求めて訪れる観光客も増えるのではないかと思います。

【企業立地・産業創出課長】 松山市では、新しくお店や会社を始める人や、すでに経営をしている人の相談窓口として、銀天街に「松山しごと創造センター」をつくっています。センターでは、別の人へお店や会社を引き継ぐことをはじめ、専門家からいろいろなアドバイスを受けることができます。ほかにも、セミナーだったり、交流会を開いて、お店を始めたい人や経営者のサポートに取り組んでいます。これからも、困っている人に利用していただけるよう、ホームページなどを活用して、広くお知らせをしたいと思います。

【市長】 私は、大学ときだけ県外に出たんだけど、ずっと松山にいる人間なので、石井北小学校さんの近くにある、ちょっと離れてるかな、うどん屋さんで、すごい好きだったところがあるんです。ご主人ともとても仲良かったんですけど、もう辞めてしまわれたんです。残念がっているお客さんもいっぱいいました。今、銀行さんと連携して、もう辞めるっていう人と、いや、実は継ぎたいんですっていう人の、マッチングっていうんだけど、そういうような取組もできるんです。ですので、これはうまく組み合わせないといけないんですけども、銀行さんとも協力しながら、松山市としてもサポートしていければと思っています。よろしくお願いします。

【興居島小】 興居島小学校です。私たちは、興居島をより住みやすい環境にするための活動を聞きたいです。私は、興居島の海がとても好きなので、海洋ごみ問題の対策をしたらいいと思います。例えば、ごみの見える化や、奉仕（ほうし）活動を増やす、ポイ捨てをした場合の条例をつくるなどができると思います。いかがでしょうか。

【企画戦略課長】 海ごみの話は、先ほども少しあったと思うんですけど、ほとんどが陸から捨てられたごみが、川をつたって海に流れてくるということで、松山市では、そういった自然を大切にするために、ポイ捨てを防いだり、ごみを拾う活動をしています。

興居島って、とっても自然が豊かだと思うので、地域の方とも一緒になって、豊かな自然を守っていききたいと考えています。

【市長】 興居島って、とっても魅力ある場所なんよっていうのを、私からお話させていただきます。11月の下旬に、もうちょっとしたら、「紅まどんな」っていう美味しい柑橘（かんきつ）ができます。これを私が、日本で一番大きな東京の果物と野菜の市場、「大田市場（おおたしじょう）」っていうところがあるんですが、そこにセールスに行ってきます。毎年行っています。そこで、例えば、三越とか、高島屋とか、そういうデパートのバイヤーさん、「こういう商品を扱いたいです」っていうバイヤーさんがいるんだけど、興居島に相当行きたがるんです。なぜかっていうと、東京から松山では、実際に飛行機で飛んでる時間って、1時間ぐらいでしょ。それで、松山から海沿いに車で走って、ちょっと旅気分。それで、港からちょびっとフェリーに乗ったら、もう興居島に着くじゃないですか。そうしたら、興居島にはみかん栽培の上手な人がいっぱいあって、いろんな美味しい柑橘が見られるっていうので、大人気なんです。興居島に行きたい。実は、身近な興居島なんやけど、県外の人からしたら、もう宝の島みたいなのところなんです。なので、みんなが興居島のことを好きでいてくれたら、とっても嬉しいなと思います。「離島（りとう）」って、離れた島って書くんだけど、松山市では「里島」って書いて、「りとう」って呼んでいます。元々、島に住んでいる人にとっての故郷、また、他の地区の人からしても、ここは故郷みたいなのところやなって感じてもらえるような「里島」になればなって思っています。またよろしくお願いします。

【潮見小】 潮見小学校です。道後温泉本館が、5年半ぶりに全館営業となりましたが、四国新幹線が開通すると、本州からの観光客の増加が予想されます。今は、松山城と道後温泉が有名ですが、新幹線の開通とともに、若者が来たくなくなるような大きなテーマパークや遊園地などの施設ができると、さらに観光客の増加が期待できます。また、新幹線が停まる駅を、愛媛や松山に伝わる文化や伝統工芸品などをアピールするチャンスと考えて、駅でイベントをしたり、近くに資料館や博物館などを建てたりするのも良いと思います。松山市の人口減少により、活気が減った松山を、観光客とともに盛り上げることができたら素晴らしいと思います。そして、松山に住みたいと思う人が増えたら、人口減少防止の対策にもなります。しかし、土地や予算の問題もあると思うので、大企業が松山に来てくれると嬉しいと思います。また、現在、坊っちゃん列車では、働く人の減少により、あんまり運行できていないのが現状です。また、赤字にもなっており、なかなか乗る人が少なく、運行もなかなか苦しいものになっています。そのところを、意見を聞きたいです。

【市長】 坊っちゃん列車のことについては、近々、また会議をして、どういうふうな結論にするか、進めていければなと思っています。そして、新幹線の話です。今、松山から大阪の移動時間は3時間30分かかるんですが、新幹線が通ったら1時間38分に

なります。早くなるね。それと、松山から高松は、今、ＪＲで２時間２２分かかるんですけども、４２分になります。早くなりますね。神戸の新幹線の駅は「新神戸」って言って、山の方にあるんだけど、ちょっと考えてみて。今、松山の大きい駅って、松山市駅とＪＲ松山駅があるでしょう。新幹線が来て、「新松山駅」って、また新しく駅を設けると、ちょっと大変だよ。なので、今のＪＲ松山駅には、新幹線が入ってこれるような設計にしています。みんなの世代のときに新幹線が来ても、ちゃんと入ってこれるようにしています。私は、愛媛県の新幹線の副会長なので、毎年、ＪＲ四国さんとか、ＪＲ西日本の方に要望に行っています。来年、新幹線が通るとは思っていないけれども、ちゃんと要望に行かないと、「愛媛県さん来なかったですよ。あきらめたんですか」っていうことになるので、毎年毎年、行っています。実は、ものすごいお金が要るんじゃないかって思われているんですけど、そうではなくて、新幹線をつくる枠組み（わくぐみ）っていうのがあります。地方分っていうのは、確か１５％ぐらいだったかな。そんなに、地方が負担しなければいけない、地方で全部、１００％出さなきゃいけないってようなものではないんですよ。確か１５％ぐらいだったと思います。そして、岡山と高松、香川を結ぶ瀬戸大橋は、新幹線が通れる設計になっています。北海道新幹線が通っていて、北陸の方にも新幹線が新しくできましたが、「沿線人口」って言って、その路線に住んでいる人口は、四国の方が多いです。なので、ちょっと四国は今、取り残されちゃってるかなってところですけど、一生懸命、毎年、要望に行っているところです。それで、Ｂ／Ｃ（びーばいしー）。みんなもう中学生が近くなってきたから説明します。「Ｂ」はベネフィット、利益っていうんだけど、「／（ばい）」は割り算だと思ってね、「Ｃ」はコスト（費用）。費用と利益でいうと、「１」を上回っているんで、コストよりも利益の方が上回るっていうのが出ているので、ちゃんと進めていい事業だと思っています。しっかりと、これからもやっていきます。皆さんの代には、新幹線が来れるように、これからも動いていきたいと思っています。そのような、ふさわしい駅にしていきたいです。

【さくら小】 さくら小学校です。僕たちは、松山市にテーマパークができると嬉しいという意見について聞きたいです。松山市にテーマパークができると、子どもたちが楽しめて、市外や県外からの観光客が増えて、より良い松山市になると思います。しかし、テーマパークに行くのは、香川県に行ったりしないといけません。いつでも仲良しの友達と遊べるように、近くにテーマパークはできないのでしょうか。

【都市・交通計画課長（とし・こうつうけいかくかちょう）】 先々月の９月には、ＪＲ松山駅の駅舎が新しくなりましたね。飲食、お土産、新しいお店もオープンしました。松山市では、この工事に合わせて、何年も前から、駅の周りの土地をどのように使っていくのかを考えてきました。そこで、ＪＲ松山駅の南のエリアに、プロのスポーツの試合、または、ライブなどを楽しめる５千席規模のアリーナと、文化活動で使える１００

席規模のホールの施設の計画をすることにしています。また、その近くには、子どもの皆さんが楽しく遊べるアミューズメント施設、アーバンスポーツ施設、飲食商業施設、ホテルなどを民間企業につくってもらえるようなお話を進めています。このように、ＪＲ松山駅の周辺を、全国から観光客をお迎えして、エンターテインメントとスポーツが楽しめる場所にしていきたいと思っています。これからも、市民の皆さん、小学生の皆さんの声を聞きながら、地域の魅力を高めていけるようにがんばっていききたいと思います。

【市長】 ＪＲ松山駅の周辺が、皆さんに喜ばれるような施設になっていくんじゃないかなと思います。今、道後温泉ができて、一番町に「国際ホテル」というホテルがあったんだけど、今、ちょっと閉まってる状況なんですけど、今、そこは外資系のホテルとマンションになる方向で、再開発が進んでいっています。銀天街のアーケード商店街の中も、民間の再開発なんですけど、松山市が全面的にバックアップしますとあって、動いています。ＪＲ松山駅が新しくなります。皆さんに喜んでもらえるようなまちづくりを、これからもしていきたいと思っています。

【北久米小】 北久米小学校です。自動車の道路と歩道の整備をしてほしいと思っています。私たちが住んでいる北久米や畑寺は、自転車道や歩道が整備されていないところがあるので、そこを自転車や徒歩で通るのは、とても不安です。特に、「畑寺のバス通り」は、道がせまいのに、車通りが多く、歩行者、自転車にとっても大変です。また、北久米や畑寺には、四国八十八箇所霊場巡りがあり、お遍路さんもたくさん通るので、お遍路さんにとっても、私たちにとっても、通りやすい道にしてほしいです。

【都市・交通計画課長】 地元で「畑寺のバス通り」と呼ばれています、歩道のない道路は、愛媛県が管理をしています。愛媛県が道路をつくったり、直したり、修繕（しゅうぜん）をしたりしています。そこで、愛媛県に問い合わせをしたところ、この道路は、地域の皆さんと工事をしていく話し合いがまとまったので、来年、令和７年の１月頃から、歩道をつくる工事が始まる予定と聞いています。ちょうど、「三町池」があるところなんです。その農業用の池のそばから工事をしていくと聞いています。また、愛媛県からは、「工事の間は、利用する皆さんにご迷惑をおかけしますが、完成をしたら、安全に通れるようになりますので、ご協力をお願いします」とお話をいただいています。これからは、少しずつ歩道をつけていって、地域の皆さんも、お遍路さんも、歩きやすい道路にしていきたいと思っています。

【市長】 いよいよ工事が始まるみたいですね。今、松山市は、できるだけ歩く人と、自転車の人が交錯（こうさく）しないようなまちづくりを進めています。その代表的なものが、市駅の隣にある花園町通りです。あそこは市駅が近いので、電車も走ってるし、バスも走っています。以前に比べると、車の通行量が半分ぐらいになっているので、警察さんともお話をさせていただいて、車道を縮めて、その分、歩く人がしっかりと歩ける歩道をつくって、自転車道もつくってという、やり方をさせていただきました。市内で

スペースを取れるところは、そういう形で進めています。ですので、歩く人と自転車が見合ってしまうような取組を、できるだけしていききたいと思います。道のことや、水路のことで困ったら、遠慮（えんりょ）なく松山市に言ってください。市道があったり、県道があったり、国道があったり、私道って書いて「しどう」って読むものもあるんだけど、いろんなものがあるから、みんな分からないと思うので、遠慮なく、松山市に言ってもらったら、他につないでいきます。遠慮なく言ってもらったらと思います。

【宮前小】 宮前小学校です。私たちが住んでいる地域は、公園が8つあります。放課後には、遊具で遊んだり、広い敷地（しきち）でおにごっこしたりと、みんな楽しんでいます。ですが、ボールが使える公園がありません。ボールが使える公園ができると、より遊ぶのが楽しくなります。今後、ボールが使える公園ができる予定はありますか。

【都市・交通計画課長】 まず、新しく公園をつくる場合には、土地をゆずっていただいたり、周りの家や、道路などの場所を変えてもらったりする、難しい問題があります。松山市では、公園については、今ある古い遊具の交換とか修理とかを優先して、みんなに安全で安心して使っていただけるようにしています。ボール遊びについては、今ある公園で、地域の皆さんがルールを決めたところから、松山市がネットなどをつけて、ボール遊びができる公園としてつくっています。毎年、1公園ずつ増やしていつている状況です。この会の後に、職員がお声がけします。どの公園で、どんなボール遊びをしたいのかを教えてください。地域の大人の方々と、一緒に考えたいと思います。また、宮前小学校から900mほど、大人が歩いて約12分ぐらいの三津浜支所があるところに、「地域交流センター」があります。芝生のグラウンドがあって、小学生以下の子どもであれば、ドッジボールで遊べるようになっています。こちらも使っていただけたらと思います。

【市長】 今、ボール遊びのできる公園を、「必ず1年に1公園は増やしましょうね」という目標で進めてるんですよ。なので、遠慮なく言ってください。「市長へのわがまちメール」という、直接私に届くメール制度があるんですけど、こんなことがあってね。中学生の女の子から、メールが来ました。「私は、公園の隣に住んでいます。市長さん、何とかしてください。公園で遊んでる子のボールが、私の家に入ってきて、いろんなところに当たるのと、勝手に私の家に入ってボールを取っていくので、何とかしてください」というメールが届いたんです。なので、公園のそばに住んでいる人からは、そういう声がある。なので、やっぱりルールを決めることって大事だと思うんです。それと、ボール遊びができるようにネットを高くするとか、そういうことが必要になってきます。どうぞ遠慮なく言ってください。私たちの方で地元の方とお話をして、例えば、ボールを飛び出さないようにネットを上げるとか、ルール作りをしてもらうっていうのをしていきたいと思います。遠慮なく言ってください。私たちは増やしていきたいと思っています。

【姫山小】 姫山小学校です。僕たちは、SDGsについて学びました。松山市には、どのような課題があって、それに対するどのような取組をしているのか知りたくて、松山市のホームページを見たら、「SDGs 未来都市まつやま」というパンフレットが出てきました。これに書いてある、「環境」の中に、「ESD（持続可能な開発のための教育）の推進」というのがあって、それについて詳しく知りたいと思いました。なぜなら、私たちの学校では、専科の先生が体調不良でお休みされたときに、代わりの先生が来なくて、6年生の先生3人で、急きょ、教科担任制が始まりました。急だったため、先生たちも大変そうでした。現在、松山市では、少子高齢化が進んでいて、人口減少が大きな問題になっていますが、学校以外の場所でも、人手不足は問題となっています。そのような人手不足の問題に対して、松山市ではどのような取組をしているのですか。

【企画戦略課長】 SDGsのことをいっぱい勉強していただいていますね。パンフレットにも書いていたと思うんですけど、松山市は、松山城とか道後温泉とか、例えば、豊かな自然とか、お遍路さんを接待する文化とか、たくさんの宝を生かして、持続可能なまちを目指しています。1つ例をあげますと、例えば、人口が減ってきている中島地区では、地元の団体や民間の企業、高校などが協力して、SDGsで地域を元気にする取組をしています。例えば、景色の良い海岸に宿泊できる施設とか、島をめぐるマップをつくったり、すてられるみかんの皮からアロマオイルを製造したりしています。そういったこともあって、観光客や移住する人が、最近では増えてきています。SDGsにつながる取組は、誰にでもできます。学校では、例えば、教室の電気をこまめに消したり、ごみの分別をすると、地球の環境が良くなります。また、水を出しっぱなしにしないようにするとか、日頃からできるような取組を続けていくことも大切です。

【市長】 人手不足は、新たな技術を使うことがやっぱり大事って言われてます。例えばね、私には4つ上の姉がいて、幼稚園の先生をしていたんです。昔の話よ。出席帳みたいなものがあって、幼稚園の園児さんが、この日、出席しとったらシールを貼（は）ってあげるのね。それを、平たく言うと、姉ちゃんが家に持って帰って、私は克仁（かつひと）っていう名前なんですけど、「ねー、かつちゃん。ちょっと手伝ってや。」と言われて、家で手伝ったりしていたんですよ。幼稚園の先生って、教室に、桜の頃だったら桜の花とかを紙で作って貼ったりするでしょ。そういうのも家に持って帰って、やっていたりしました。でも、今の技術を使うと、タブレットとかを使って、「この子が出席してました」ってできるじゃないですか。介護（かいご）も、例えば、おじいちゃんやおばあちゃんを、自分の力で運ぼうと思ったら大変よね。でも、介護ロボット、介護を楽にしてくれる技術なんかもあったりします。例えば、島でみかんの収穫の時期になったら、みかんは一時期にいっぱいできるので、収穫が大変よね。でも、そんなときにも、「みかんの収穫したいです」、「手伝ってください」っていうのを、アプリで結び付けるような、そんなことも松山市はやっています。ですので、人手不足を補うには、新しい技術を導入していくことと、新しい技術を活用するということが大事なかなと思って

います。新しい技術や、新しい発想っていうのは、実は、みんなが持っているのです。私たちの世代では考えられなかったような発想を、みんなが持っているのです、とっても楽しみにしています。

【桑原小】 桑原小学校です。最近、少子高齢化という言葉をよく聞くのですが、松山市では、人口を増やすために、どのような工夫をしているのですか。また、私たちが、松山市の人口を増やすためにできることは、どんなことがありますか。

【市長】 分かりました。様々取り組んでいるところです。みんなもいずれ、将来、大きくなったら結婚を考えたりするようなときが来るかもしれないけれども、今、出会いの場がないって言いますね。昔、私たちのときに比べて。まとめたスライドを出しますね。ライフステージっていうんだけど、まず、出会いの場をつくったりとか、例えば、「赤ちゃんができたよ」っていうとき。妊娠、初めて赤ちゃんを出産するなんて、とても不安だよ。そういう妊娠や、出産に不安のある方の相談サポートとか。さっき言った、18歳まで病院代が無料になることも、子どもができたんだけど、ものすごく病院のお金がかかって、とてもとても、もう2人目なんて考えられないってことにならないように、病院代のサポートは、そういう意味合いもあります。病気の早期発見っていうのも意味があるんですけど、そういった取組。また、会社を新しくつくってもらような、松山市役所としてのサポートとか、働きたい人に会社を案内するとか。移住、さっき言ったように、東京や大阪の会社で働いてるんやけど、通勤通学にすごく時間がかかって、ちょっとしんどい、もう故郷の松山に帰りたいなとか。松山が別に故郷ではないんやけど、松山は住みやすそうって聞いたので、関心があるなという人のためには、東京や大阪で、移住の相談会をしたりとか、実際に、松山に来てもらって、暮らしやすさを体験するツアーをやったり、そういうようなことで、昨年度、県外から松山に移住された人は、3千人近くいます。過去最高で増えています。このような取組をやっています。それでね、一つ言うと、やっぱり、松山で生まれて、また、松山で育った人たちが、松山を誇れるようになるように、僕たちはいろんな取組をしていくんだけど、みんなやっぱり、故郷を大事にするっていうことが大事だと思うよね。「松山いいところですよ」っていうのは、やっぱり松山の人が一番言うじゃない。伊予市の人が、「松山いいですね」って、そんなには言ってくれないよね。だって住んでないんやもん。今治の人が、「松山いいですよ」って、そんなに言ってくれんよね、住んでないんやけん。やっぱり、住んでいる私たち市民が、「松山いいところですよ」って言うことが大事だと思います。ですから、みんながそう思ってもらえるようなまちを、私たち大人はつくっていかないといけないと思うし、「いや、松山よくないんよ」って言ったら、誰も来てくれんよね。なので、僕たちは「松山いいね」って思ってもらえるような取組をやっていきます。みんなにも、それを感じてもらったらと思います。

【味生第二小】 味生第二小です。松山市では、昔、ダムの水が空になって、水がなくなったという事件があったそうですが、そんなときや、電気が止まったり、地震が起きたりして、交通の手段がなくなったりしたときに、どうするか教えてほしいです。そして、もし無くなった場合、どのように対応するののかも教えていただきたいんですけど、どのように、例えば、電気がなくなったときの道具とかを渡すのかみたいなのを知りたいんですけど、よろしくお願いします。

【市長】 分かりました。私の方からいきましょうね。今、言ってもらった、水がとも少なくなったときは、平成6年のことです。今から30年前のことになります。あのときは、5時間しか水を出すことができなかったんですが、今、新しい技術も出てきて、あのような状態になったとして、今は11時間だったかな、5時間ではなくて、11時間まで給水できるようにはなっています。でも、今日言ったように、とっても真水は貴重なので、みんな大事にしてください。実はね、みんなのおうちに、水の2Lのペットボトルってあるじゃない。2Lのペットボトル、あれを思い浮かべて。もし、おうちで、シャワーとか手洗いで1分間、水をジャーって出したら、12Lも出とるんよ。チョロチョロ出るくらいの量だったら違うけど。一般的に、1分間、お水を出しっぱなしにしちゃったら、2Lのペットボトル6本分も使ってるの。なので、無駄に水は使わない、とっても水は貴重だっていうのは、今日学んでもらったと思います。ですので、大事に使ってください。それと、電気は四国電力さんが、できるだけ止めないようにがんばります。交通手段は、一時的に止まるがありますが、これもJRさんとか、伊予鉄さんが、皆さんに早く乗ってもらえるように、必死で直します。それぞれ大人ががんばります。もうこれ、最後の質問、お答えになっちゃうかな。先週、ものすごい雨が降ったでしょう。松山地方気象台は、1890年から観測をしています。134年になるんだけど、134年の歴史の中で、最も多い雨が、この間、1週間前に降りました。1時間で78mmも、松山で降りました。134年の歴史の中で、最も多い雨が降りました。今、気象台のデータでもそうなんですけど、雨が降るときはものすごく降って、降らないときは極端に降らないっていう、そんな雨の降り方になっているんです。私たちが子どものときに比べると、明らかに気象は変わってきているなっていうのを感じています。もし、今日お越しになっている方で、浸水（しんすい）などの被害（ひがい）にあわれた方がいらっしゃったら、心からおみまいを申し上げたいと思います。今までいろんな対策をやってきたんだけど、より一層、対策を重ねていかなくちゃいけないなと思っています。そこでなんですけど、小学生の皆さんにも、できることはあります。東日本大震災のときに、おじいちゃんやおばあちゃんの手を、小学生たちが引っ張って避難（ひなん）させてくれた例があります。小学生も大事な存在です。今日、みんなの質問を聞きっぱなしにしないよ、やりっぱなしにしないよって言ったけど、みんなからの声は、すごく大事にしているので、今日もしっかりと生かしていきます。小学生たちもやれることがあるからね。なので、ちょっともう気候が変わってきている、南海トラフを震源

とした地震も、30年以内にだけど、70%から80%って言われているので、備えは必要です。極端（きょくたん）におそれることはないよ。しっかりととらえて、備えることは大事だけど、みんなでやれることはあるので。しっかりと将来に向けて、私たちは取り組むことをやっていくし、皆さんも備えること、やるべきこと、節水するとか、ごみを捨てないとか、そんなことを大事にしてもらったかなと思います。

【市長】 本当は、もうちょっとみんなの声を聞きたかったんですけど、時間になってしまいました。私から最後に言わせていただきます。今日は、土曜日の午後でしたのに、参加していただいて、ありがとうございます。本当は、休けい時間を設けたかったんですけど、できるだけ全校に発表してほしかったので、ちゃんとした休み時間を取れなくてごめんなさい。それと、先生方も土曜日の午後でしたのに、引率していただいて、ありがとうございます。最後に、みんなは、可能性のかたまりなんよ。本当に、可能性のかたまりなんよ。小学6年生や5年生になって、私の人生、こんなになるんじゃないかなって、イメージしているかもしれないけど、どうなるかは全然分からん。みんな可能性のかたまりよ。いろんな方向に広がってる。僕、小学校のときに、市長になるなんて全く思ってたかったもん。前の仕事はアナウンサーだからね。小学校のときになりたい夢は、地方公務員って書いてある。父親が県庁の職員だったから、その影響で書いてただけだと思うんだけど。だから、みんなはもう可能性のかたまりよ。よく言うんだけど、人間、しんどくなったら、「どうせ」っていう言葉を使うじゃない。どうせ、やっても無駄じゃわい、どうせ何とかやけん。しんどくなったら、人間言うんよ。でもね、「どうせ」っていう言葉は、みんなが持っている可能性をせばめてしまうだけの、もったいない言葉なんよ。どうせ何とかやけん、やらんって言ったら、可能性はちっちゃくなってるやろ。なので、「どうせ」って言わない人生を歩んでいってください。いろんなことにチャレンジしてってください。ほんなら、おのずと道は開けると思います。これから、中学生、高校生になるにしたがって、いろんなつらいこともあると思うけど、立ち止まってもいいんだよ。でもね、人間うつむくこともあるけど、ふっと顔を上げたら、周りの支えてくれる友達だったり、家族だったり、青空だったり、さえずってる小鳥だったり、いろんなことに気づくから、立ち止まってもいいんだよ。立ち止まってもいいんだけど、ふっと顔を上げてごらん。また明るい展開が生まれるから。いろんなことに挑戦（ちょうせん）してください。今度また、まちで会ったら、「市長さん、小学生のタウンミーティングで会いましたよ」って言ってください。また思い出しますから。今日、みんなの意見を聞けてよかったです。これからも、体に気をつけて、いろんなことにチャレンジしてください。ありがとうございます。

—了—